



構成組織と仲間のご奮闘に感謝申し上げます —「第27回参議院議員選挙」で連合組織内候補9人当選!—



田村 まみ (UAゼンセン)



浜野 よしふみ (電力総連)



いそざき 哲史 (自動車総連)



岸 まきこ (自治労)



吉川 さおり (情報労連)

ご当選
おめでとうございます
□比例代表
連合組織内候補
当選者のみなさん
※上段左から獲得票順/ 敬称略



みずおか 俊一 (日教組)



小沢 まさひと (JP労組)



郡山 りょう (JAM)



平戸 航太 (電機連合)

選挙結果

《比例代表・立憲民主党5議席 国民民主党4議席/連合推薦候補のみ掲載》
投票率(全国)58.51%(前回52.05%)

当選	田村 まみ (UAゼンセン/現)	205,331票	国民民主党
当選	浜野よしふみ (電力総連/現)	193,599票	国民民主党
当選	いそざき哲史 (自動車総連/現)	181,976票	国民民主党
当選	岸 まきこ (自治労/現)	147,648票	立憲民主党
当選	吉川さおり (情報労連/現)	116,314票	立憲民主党
当選	みずおか俊一 (日教組/現)	116,142票	立憲民主党
当選	小沢まさひと (JP労組/現)	99,963票	立憲民主党
当選	郡山りょう (JAM/新)	94,610票	立憲民主党
当選	平戸 航太 (電機連合/新)	92,137票	国民民主党
	もりやたかし (私鉄総連/現)	74,495票	立憲民主党

《鳥取県・島根県選挙区》
投票率57.51% 内、鳥取県55.04%(前回48.93%)

当選	出川 桃子 (自民党/新)	289,250票(内、鳥取県130,522票)
	中山 集 (国民民主党/新)	120,088票(内、鳥取県 46,570票)
	倉井 克幸 (参政党/新)	84,398票(内、鳥取県 36,471票)
	亀谷 優子 (共産党/新)	47,754票(内、鳥取県 19,448票)
	谷口 直矢 (NHK党/新)	7,952票(内、鳥取県 4,090票)

第27回参議院選挙は、7月3日(木)公示、7月20日(日)投開票日の日程で行われました。
鳥取県・島根県選挙区選挙に国民民主党公認として「中山 集」さんが立候補され、連合鳥取も推薦をし取り組みましたが、残念ながら惜敗、比例代表選挙では10人の連合組織内候補のうち9人が当選しました。9人の候補者名での得票は125万票弱となり、前回2022年における得票約153万票から28万票を減らしました。結果、非改選議席を含み、立憲民主党は改選前38議席を維持、国民民主党は改選前9議席から22議席と躍進、昨年の衆議院選に続き、参議院でも与党が過半数を下回る結果となりました。
全国的には序盤から報道各社による与党の苦戦が報じられる中、鳥取県・島根県選挙区では与党新人候補の優勢が揺るがない、厳しい情勢発表が続く中にもかかわらず、連合推薦候補の勝利に向け、昼夜を問わず献身的に取り組んでいただいた各産別・単組・地域協議会のみなさんの多大なご尽力とご奮闘に對しまして心から感謝申し上げます。

連合鳥取
会長 山口一樹



連合鳥取は、今回の選挙結果を真摯に受け止め、引き続き、私たち連合がめざす「働くことを軸とする安心社会」を実現するため、弱者切り捨て、新自由主義的政治を改め、命と生活を守る国民目線の政治への転換を図り、加えて、賃金が上がって働く一人ひとりが輝き、「男女平等」「女性活躍」「ジェンダー平等」の推進のもと魅力ある雇用・労働環境の創出に向け、政治活動・労働運動に取り組んでまいります。

「最低賃金」って知っていますか? 連合は労働者側代表として
毎年の引き上げに注力しています!!

■特集 第27回参議院議員選挙 フォトニュース■



6月22日(日)

選挙事務所開き(鳥取市・事務所)
総決起集会(風紋広場)



7月5日(土)

連合鳥取
「労働政策セミナー」
(エースバック
未来中心)



7月3日(木)

【公示日】
出陣式
(選挙事務所)
第一声
(JR鳥取駅
北口ロータリー)



7月11日(金)

西部地協「個人演説会」(だんだん広場)



7月12日(土)

中部地協「個人演説会」(倉吉体育文化会館)



7月17日(木)

執行委員会後街宣(JR鳥取駅前)



7月13日(日)

東部地協「個人演説会」(風紋広場)



7月19日(土)

西部地協
「街頭演説会」
(だんだん広場)



7月20日(日)

開票状況を見守る関係者
(鳥取市選挙事務所)



西部地協発

「労働組合と政治の関係」について学ぶ

—「政策実現のに向けた学習会」に70人参加—



政策実現に向けた学習会



写真上/講師 松上隆明さん

西部地域協議会は、今年7月に参議院議員選挙を踏まえ、年度当初の年間計画にこの学習会を計画していました。結果的に公示日直前の7月1日(火)になり、産別・単組が慌ただしい中での開催となりました。

講師には、(独)労働政策研究・研修機構のリーサーアソシエイト・松上隆明さんを招きました。松上さんは、元「月刊労働組合」編集長、そして現在、「JAM's Insight※」で執筆され、春闘期には多くの組織で講師をされている方です。

講演は「労働組合と政治の関係について」と題し、いま労働組合の、そして働く人がおかれている現状を、様々な統計資料をもとに解説をいただきました。

組織内部の事情も時折混ぜながら飽きさせない、大変充実した講演でした。

質疑応答では3人の参加者から発言があり、それぞれの立場から現状を訴えるとともに、今後の活動についてのアドバイスを求めたりしました。

「いま起きていることは、すべて政治に帰着する」ことを改めて認識できた学習会でした。

※JAM's Insight=「人」「社会」「労働」を発信するJAMのページ
(<https://www.jamunion.org/insight/2025/05/16/2504/>)



◡◡ 連合がめざすのは、「働くことを軸とする安心社会」◡◡

連合鳥取は、働く人、生活者の立場から提案された「政策・制度要求」をとりまとめて、鳥取県と鳥取労働局へ提言しています。今年度の要請内容を決定していくため「労働政策セミナー・政策討論集会」を開催しました。

また、「働くことを軸とする安心社会の実現」のための取り組みの一環として、6月の「男女平等月間」にあわせた「男女平等参画社会の実現に向けた要請書」と、今年の最低賃金を決定する審議会のスタートにあわせて「最低賃金行政に関する要請書」を作成し、鳥取県と鳥取労働局に提出しました。

－「労働政策セミナー・政策討論集会」を開催－

連合鳥取は7月5日(土)、「2025労働政策セミナー・政策討論集会」をエースバック未来中心(倉吉市)で開催し、全体で組合役員・組合員108人(うち女性19人・女性参画率17.6%)と連合鳥取推薦議員14人が参加しました。

■労働政策セミナー 山口一樹会長のあいさつの後、第27回参議院議員選挙 鳥取県・島根県選挙区「中山 集」候補のあいさつ、国会情勢報告として国民民主党の代表代行「古川元久」衆議院議員から報告を受けました。当初予定していた鳥取県の中原美由紀統轄監(現副知事)の講演は取りやめになりました。



あいさつする山口会長



左から/中山 集推薦候補者 古川国民民主党代表代行



会場の様子

■政策討論集会 「2026年度連合鳥取政策・制度要求(案)」を各政策責任者から提起し、討論を行った後、労働政策局長の細砂直副会長より集会まとめを行いました。最後に「団結がんばろう」で討論集会を終えました。



要求(案)を提起する政策責任者

左から/河村正之事務局長
三浦敏樹(自治労)執行委員長
北畑仁史(UAゼンセン)支部長、細砂直(鳥取県教組)執行委員長
大橋良輔(全国農団労)執行委員長、村尾昌彦(交通労連)執行委員長



教員を取り巻く現状や期日前投票について意見を発言する参加者

要求案は「第8回(拡大)執行委員会(2025.7.17)」で補強を行い、8月上旬には鳥取県知事へ要請書として提出します。その後、鳥取県の担当部局との交渉を行い、来年度施策への反映をめざします。

－「最低賃金行政」への要請を実施－

7月7日(月)、山下禎博鳥取労働局長へ「最低賃金行政」への要請行動を行いました。



鳥取労働局

昨今の物価高に対して最低賃金に近い金額で働く仲間の暮らしは一層厳しさを増しているとして、賃上げの流れを労働組合のない企業で働く人も含め社会の隅々まで確実に波及させられる環境整備を要請しました。

【参加者】山口一樹会長 森由香里副会長
寺田真里副事務局長 山下浩二副事務局長

【要請内容(骨子)】

1. セーフティネットとしての地域別最低賃金改正額の決定と早期発効
2. 最低賃金の引き上げに向けた環境整備
3. 適用労働者数の適切な把握と意義・目的を踏まえた審議会運営
4. 監督の強化など最低賃金の履行確保、公契約の見直し
5. 家内労働および最低工賃への対応強化

「男女平等参画社会の実現」への要請を実施

7月7日(月)、「男女平等参画の実現」に向け、山下禎博鳥取労働局長(写真左)および平井伸治鳥取県知事(写真右)へ要請書を手交しました。

鳥取県は「性にかかわらず誰もが共同参画できる社会づくり計画」が策定され、都道府県版ジェンダーギャップ指数で行政分野第1位になり、全国的にも先駆的な取り組みが進められていますが、一層の充実改善を要請しました。

鳥取労働局



【参加者】
山口一樹会長 森由香里副会長
小谷くみこ女性委員会委員長 寺田真里副事務局長

鳥取県



【要請内容(骨子)】

1. 「困難な問題を抱える女性への支援に関する基本計画」の着実な実行、改善
2. 会計年度任用職員等の雇用の安定と処遇改善
3. 「鳥取県地域防災計画」の検証、改善
4. あらゆる分野への女性参画の促進と、女性活躍推進計画にかかる情報分析・是正
5. 公共調達における「えるぼし」等認定企業への加点引上げ等の積極的な実施
6. カスハラ対策の推進と防止条例制定の検討
7. 「とっとり安心ファミリーシップ制度」の充実、改善と条例制定の検討
8. 共同親権運用の慎重な対応

“ザ・議員”

村上 泰二郎

鳥取県議会議員

—未来をつくる—

政治を志してから3年が経ちました。教員不足を解消するための鳥取大学の教員養成機能の充実が実現できました。未来につながる成果を1つずつ実現すべく活動しております。

一方で初心を忘れず、日本の復活に取り組んでまいります。政治は変わりつつありますが、大きな変革にはいたっていません。ひとつの政策実現のための連立ではなく、真の政権交代が必要です。

「労働者、生活者」の生活充実を軸として、日本再生を進めなければなりません。政治が変わる今だからこそ、生活充実を中心とした大きな日本の改革を行っていくための政権交代へと、これからも全力で歩みを進めてまいります。



亀井亜紀子衆議院議員(右)と
マイク納め式(松江市)に参加
【左が村上議員／7月19日(土)】

勝田 鮮二

鳥取市議会議員

令和7年2月定例会で会派代表質問(11項目)を行いました。その中の1項目・「鳥取駅周辺再整備」について、質問内容と市長の答弁を報告します。

＜複合化施設について問う！＞ 先進地の視察において、宮崎県延岡市の駅前複合化施設「エンクロス」、都城市の中心市街地中核施設「まるまる」の事例を紹介しながら質問しました。人材づくりにも寄与する図書館やカフェ、若者や子育て世代が集えるフリースペースやスーパーマーケット、土産物・特産品売り場など集約することにより相乗効果もあり、「雨に濡れなく」、「寒さを気にしない」ことなど重要と考えます。鳥取市が検討している施設は、どのようなものをめざそうとしているのか問う！

【市長答弁】 今後のまちづくりに大きな影響をもたらす極めて重要な事業です。市民ワークショップやフォーラム、意見交換会などを開催し、再整備に関するご意見やアイデアの把握に努めていき、実現性や実効性のある整備計画の策定を進めていきます。



宮崎県延岡市への視察
(右側中央が勝田議員)

第27回参議院議員選挙が7月20日に実施された。鳥取県・鳥根県選挙区で連合鳥取が推薦した中山候補は残念ながら届かなかった▼合区選挙による政治への関心低下から低投票率になることが心配されたが、投票率は鳥取県で55.04%、前回(48.93%)から6.11%上昇した。上昇の要因は、争点が物価対策など日々の生活に直結していたからとも、現首相の応援行動ともいわれているが、はたして…▼確かに生活に直結する事柄を争点の一つに据えることは重要であると思うが、事実上の政権選択選挙との位置づけであったのならば、「少子高齢化対策」「都市と地方の格差解消」「安全保障」などの行く末がもつと議論されるべきではなかったか▼更には「政治と金問題」も進展していない。少なくともそのような事柄に対して各候補・政党がどのような見解を持っているのか目を凝らしていくことが必要に思う▼「政治には無関心でも無関係ではないられない」。投票を呼びかける側の一人として、これからも引き続き希望を持って粘り強く取り組みを続けたい。

(牛歩)



てんじんくらぶ



再生紙を使用しています